令和6年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

一級河川　井野川 調節池整備事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

調節池を整備して水を貯留し、河川に流れる水量を少なくします

地元の声

・最近は集中豪雨等により急激な水位上昇が頻発しているので、浸水被害がでないように早く対策してほしい。（地元住民）

事業前

◆集中的な降雨があった際、河川への流入量が増え、洪水被害が発生するおそれがあります。

事業前の状況（常慶橋下流）

事業後

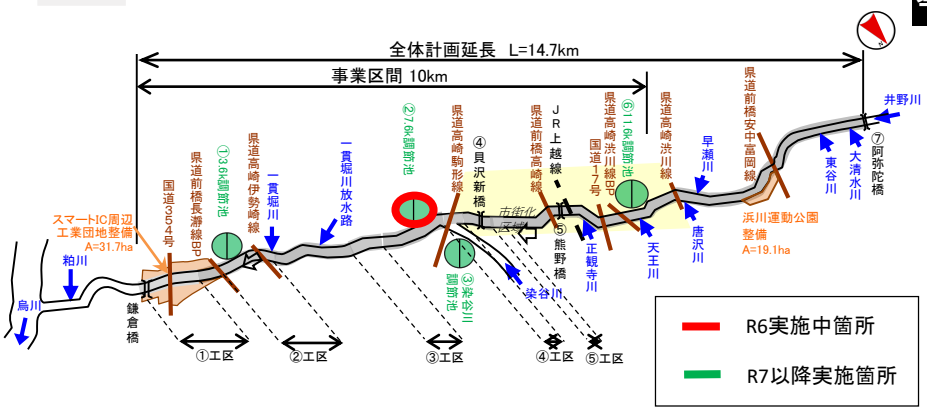
◆調節池に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入量を減らし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

事業の概要

- ■ 事業箇所：高崎市綿貫町～大八木町
- ■ 事業内容：調節池　4箇所
- ■ 事業期間：令和元年度～

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和６年度も引き続き、用地測量及び計画予定地の用地取得を実施します。

計画地現況

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――――――――――――――――● 事業完了